

キンボールスポーツ チャリティカップ宝塚2011全国大会

2011年11月に兵庫県宝塚市で開催予定であった第6回キンボールスポーツワールドカップは、東日本大震災による放射能漏れ事故の影響で開催中止となりました。当連盟の関係者はもちろん、4年の月日をかけて共に準備にあたった社団法人宝塚青年会議所、宝塚市、兵庫県、その他の関係者の落胆ぶりは筆舌に尽くしがたいものでした。しかしながら、それまでの準備を活かし、なおかつ被災した方々を勇気づける大会を開こうと関係者一同一致団結し、実現させたのが標記の2大会です。

11月12日にキンボールスポーツチャリティカップ宝塚2011全国大会(以下チャリティカップ)の予選を、13日にはその決勝及び第1回キンボールスポーツパン・パシフィックカップ(以下パン・パシフィックカップ)を宝塚市立スポーツセンターで開催しました。

チャリティカップは初心者から上級者まで参加できる部門があり、92チームが参加しました。チャンピオン部門には翌日のパン・パシフィックカップに出場するカナダ、韓国、中国、日本代表の選手も予選のみ出場することができたため、予め互いの



技量や戦略を知ることのできる機会となりました。翌日のチャンピオンの部・男子と女子の部門での優勝チームはパン・パシフィックカップに出場する権利を得て、いよいよ日本で初の国際大会がスタートしました。ワールドカップに参加したことのない中国や韓国も前日のチャリティカップでの試合で世界のレベルを実感し、また対戦相手から戦術を学び、苦しい状況にもかかわらず最後までフェアプレーの精神を貫

き戦い抜きました。力の差は歴然としていましたが、今大会が契機となり今後の発展に期待ができてと思います。

男女ともに決勝戦はカナダ、日本代表、チャリティカップの優勝チームになり、7分1ピリオド、3ピリオド先取制で行われました。男女ともにカナダの勢いを止めることができず、カナダ優勝で大会の幕は閉じました。今後のパン・パシフィック大会の予定は今のところ未定ですが、2年に1回開催されているヨーロッパ選手権大会のようにパン・パシフィック地域においても国際大会を定期的に開催することは全体のレベルアップに繋がり、また国際交流や情報交換をする上でも非常に重要なことです。当連盟の中長期目標にもありますようにアジア諸国に働きかけ、大会はもちろんのことアジアキンボールスポーツ連盟の設立に向けて活動を行っていきます。

最後に、チャリティカップは参加料などの収益の一部を義援金として被災地に寄付いたしました。また、12日の夜に開催された懇親会ではチャリティオークションが行われ、参加国のみなさんやワールドカップに参加したみなさんから商品を提供していただきました。オークションの収益も義援金として被災地に寄付いたしました。

キンボールスポーツ チャリティカップ宝塚2011全国大会

【日 程】2011年11月12日(土)・13日(日)

【場 所】宝塚市立スポーツセンター総合体育館

【部 門】フレンドリーの部・ジュニア/ビギナー/一般、
チャンピオンの部・男子/女子

第1回キンボールスポーツ パン・パシフィックカップ

【日 程】2011年11月13日(日)

【場 所】宝塚市立スポーツセンター総合体育館

【部 門】男子、女子

【参加国】カナダ、中国、韓国(男子のみ)、日本

小学生との交流

大会前日の11月11日には海外の選手が宝塚市内の小学校を訪問し、小学生と交流をするイベントがありました。残念ながら韓国チームはその日に来日したため参加できませんでしたが、カナダチームと中国チームが3校を訪問し、一緒にキンボールスポーツを行ったり、その国の伝承ゲームを教えたりしました。

カナダチームが訪問した山手台小学校はキンボールスポーツを熱心に行っている小学校の一つです。交流を行った5年生、6年生はみな世界一のカナダチームの訪問を心待ちにしていたようで、体育館にカナダチームが入るや否や絶叫の嵐。まるでスターを迎えるような待遇にメンバーもヒートアップ。ともにキンボールスポーツを行いながら、小学生はメンバーからヒットの方法や効果的なセットの方法など身振り手振りを交えたコミュニケーションで学んでいました。カナダチームは小学生とともに給食を体験し、箸の使い方を習ったり、料理の説明を受けたりと楽しい時間を過ごしました。翌日のチャリティ・カップ(全国大会)に参加した小学生はカナダチームと会うとハイタッチしたり、試合の応援をしたりと前日の交流



の成果が表れていました。

中国チームは2班に分かれ、安倉小学校と中山桜台小学校を訪問しました。メンバーの大半

が日本語を専攻しているため、小学生たちとの会話は日本語でスムーズに行われました。キンボールスポーツをともに楽しんだ後は中国の子どもたちが行うゲームを教えてもらい、即座に実践。身体を使ったゲームに子どもたちは大はしゃぎで存分に楽しんでいました。

小学生との交流に参加したメンバーはみな貴重な経験をさせてもらったと喜んでいました。これは当連盟だけではなく、社団法人宝塚青年会議所や宝塚市をはじめ関係諸団体の方々との連携・協力により実現できたものです。今後も他団体と協力し、キンボールスポーツを媒体としたこのような交流を行っていきたいと考えております。